

「新たな教師の
学びの姿」って
何だろう？

「新たな教師の学びの姿」 の実現に向け 校内研究

主体的な姿勢



個別最適な学び



協働的な学び



継続的な学び



校内研究の工夫が 教師を変える

「新たな教師の学びの姿」を校内研究活性化の原動力に！
先生の学びにも「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を！

日常的に授業や
子どもの学び
について意見を
交わす先生が

**9割を
超えた**

*本研究の教員対象質問紙調査の結果より

「新たな教師の学びの姿」とは

新たな領域の専門性を身に付けるなど強みを伸ばすための、一人一人の教師の個性に即した



「個別最適な学び」

他者との対話や振り返りの機会を確保した



「協働的な学び」

変化を前向きに受け止め、探究心を持ちつつ自律的に学ぶという



「主体的な姿勢」

求められる知識技能が変わっていくことを意識した



「継続的な学び」

文部科学省中央教育審議会「『令和の日本型教育』を担う教師の養成・採用・研修等の在り方について～『新たな教師の学びの姿』の実現と、多様な専門性を有する質の高い教職員集団の形成～(答申)」、令和4年(2022年)

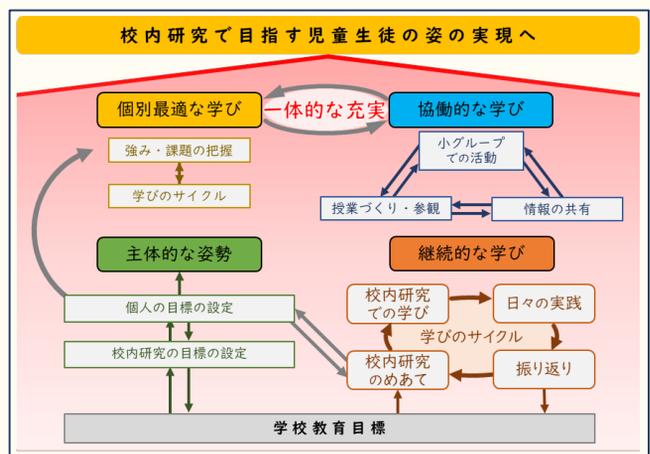
研究委員が考えた「新たな教師の学びの姿」の実現に向かう校内研究のあり方



学校教育目標を起点に始める必要があるな。

授業と同じで、「協働的な学び」を、「個別最適な学び」に返すことで学びを深めることができたな。

「主体的な姿勢」と「継続的な学び」は土台と捉えて下側に描いていきますね。



リーフレットの 見方

校内研究活性化に向けた取組のポイント

主 継
個 協

実践事例

具体的な実践事例やツールの紹介

実践事例で主に見られた姿

「新たな教師の学びの姿」の実現に向けての実践事例を紹介します。各校の実態や目指す児童生徒の姿に照らし合わせて御活用ください。



センターン

① 校内研究の目標を設定し、方向性や内容を明確にして共有しよう

主 継

年度初めに「校内研究プランシート」を用いて、校内研究の目標、方向性や内容を明確にし、教員間で共有しました。教員一人ひとりが見通しをもてるようにし、個人の目標や課題も共有することで、主体的・継続的に学びを進められるようにしました！

「校内研究プランシート」

令和〇年度 ○〇〇学校 校内研究プラン

「確かな学力」

知識・技能 判断力

学ぶ意欲 思考力

問題解決能力 課題発見能力

表現力 学び方

学校教育目標

児童生徒の実態

目指す児童生徒の姿

校内研究の主題

課題解決に向けた「共通実践」

月	校内研究の主題に基づいた校内研究会の内容	校内研究会の目的	校内研究会の成果と課題
4月	校内全体の取組	年度途中で校内研究の成果と課題	
5月			
6月			
7月			
夏休			

目標、方向性や内容を明確にするためのツール(例)

共有

「校内研究プランシート」の使い方はこちら



校内研究会で個人の目標や課題を共有する様子

第1回校内研究会で、今年度の校内研究の目標と流れを確認し、教員一人ひとりの目標や課題も共有しました。そして、グループの目標を設定することで、学びを進めるための土台づくりを行いました。

② 個人の目標を設定し、学びのサイクルを回せるようにしよう

主 個 継

「個別最適な学び」を促進するため、教員一人ひとりが、校内研究の目標から個人の目標を設定し、学びのサイクルを回せるようにしました。そのことで自身の強みや課題をより具体的に把握でき、「主体的な姿勢」「継続的な学び」につながりました！

「授業アップデートシート」

自校の課題解決に向けた「共通理解・共通実践」

校内研究の主題・目指す児童生徒の姿「共通実践」の方向性や内容

授業に関する自分の強み・課題

日付	校内研究会授業実践	自分のめあて	学んだこと (印象深い児童生徒の様子・新たな知見など)	具体的に 取り組みたいこと (時・場・方法など)	自己評価 (成果・進捗状況など)
		校内研究会での自分のめあて	校内研究会での学び	実践	振り返り

学びのサイクルを確立するためのツール(例)

「個別最適な学び」を促進する

「授業アップデートシート」の使い方はこちら



毎回の校内研究会の終わりに、「学んだこと」と「具体的に取り組みたいこと」を記録する時間を設定し、校内研究での学びを日々の授業改善に生かせるようにしました。

教員の「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させました！

③教員一人ひとりが学びを生かし、授業改善に取り組もう

個 継

学びのサイクルを促進するために、校内研究で、教員一人ひとりが強みや個性を生かして学び、具体的な手立てを明確にして授業改善に取り組みました。そのことで、教員の「個別最適な学び」がさらに促進され、校内研究に自分事として取り組む姿につながりました。

「授業アップデートシート」を活用して、校内研究会での学びを教員一人ひとりが自覚できるようにしました。授業改善の手立てを学年やグループでの協議でも考える時間をもちました。

教員の「授業アップデートシート」より
研究員が抜粋

月	学んだこと	具体的に 取り組むこと
6月	<ul style="list-style-type: none"> 児童の習熟度によって支援の仕方を工夫することを学んだ。 交流の仕方を学んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ペアやグループでの交流の仕方を工夫する。

児童が活発に交流することのできる授業にしていきたいです。



それではこの場面で似た考えの児童同士で交流してみてもいいですか？

それはいいですね。児童がペアやグループで交流する際に、安心して考えを話せるかもしれません。

「個別最適な学び」
に還元する

一体的な充実

「協働的な学び」
に生かす

④対話や振り返りを通してよりよい学びを生み出そう

協 継

よりよい学びを生み出せるように、教員一人ひとりのニーズに応じた交流グループを編制しました。グループの課題を解決するための対話や振り返りに自分事として取り組むことで、異なる考えが組み合わさり、考えを広げたり、深めたりすることができました。

交流グループ

- 「支援の仕方」
- 「板書の工夫」
- 「発問、声掛けの工夫」
- 「交流が活発になる条件の設定や手立て」



似た課題をもつグループのメンバーと協議することで、教員からは「自分の課題が整理された」という声が聞かれ、「協働的な学び」の中で「個別最適な学び」が支えられていました。

また、校内研究主任からは「先生方に多くの時間を委ね、任せることが、校内研究で学びを進めるうえで最も有効だった」という意見が聞かれました。

省察

授業改善

実践

児童生徒の
「個別最適な学び」



一体的な充実

児童生徒の
「協働的な学び」



⑤校内研究を振り返り、成果と課題を共有しよう



校内研究の取組を、視点を定めて振り返り、価値付けすることで成果と課題を明らかにしました。そうすることで、実践を見ていない教員とも学びを共有することができ「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実につなげることができました！



「校内研究省察ポスター」で共有

教員の学びを価値付け、「継続的な学び」につながる

「校内研究省察ポスター」

こちらに5校分掲載しています！

Please check this!



「校内研究省察ポスター」を、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実という視点で1学期に作成・共有しました。そして、成果と課題を2学期以降の実践で生かしました。

「校内研究通信」を、学びや情報の共有という視点で、校内研究主任や研究授業を行った学年の教員が執筆しました。



「校内研究通信」の発行

⑥校内研究の成果と課題をまとめ、次年度につなげよう



年度末に、校内研究の取組を、個人レポートや研究紀要にまとめることで成果と課題を明らかにし、次年度の校内研究につなげました。成果と課題を生かして次年度の取組を計画することで、「継続的な学び」につなげることができるようになりました！

教員一人ひとりが

教員一人ひとりが成果と課題をまとめることで、自身の学びを再認識することができます。

さらに、教員間で個々の成果と課題を共有することで、「協働的な学び」となり、次年度の取組に向けてのヒントを多く得ることができ、「個別最適な学び」につなげることができます。

学校全体で

校内研究の成果と課題を研究紀要にまとめることで、教員一人ひとりの学びや児童生徒の変容が明らかになります。

さらに、研究紀要の内容を共有し、次年度の取組の方向性や内容に生かすことで、「継続的な学び」につなげることができます。

教員一人ひとりが「新たな教師の学びの姿」の実現に向かっていくことができるように、実践事例を四つの姿から紹介しました。みなさんも児童生徒に付けたい力を明確にし、自校の校内研究の活性化に向けて計画的に取り組んでみてください！



次年度へ

多賀町立多賀小学校

東近江市立玉緒小学校

守山市立守山小学校

東近江市立五個荘中学校

近江八幡市立八幡中学校

研究委員(校内研究主任)の声

子どもも教師も学び手であり、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体化させた校内研究にしていくことが大切であることを学びました。

紹介した取組を実施した時期

年度
初め

①校内研究の目標を設定し、方向性や内容を明確にして共有しよう

②個人の目標を設定し、学びのサイクルを回せるようにしよう

年度
中

③教員一人ひとりが学びを生かし、授業改善に取り組もう

④対話や振り返りを通してよりよい学びを生み出そう

年度
末

⑤校内研究を振り返り、成果と課題を共有しよう

⑥校内研究の成果と課題をまとめ、次年度につなげよう

初めて校内研究主任という立場で校内研究に取り組みました。

学校を管理職とともにつくりあげ、先生方の学びを深められることが、こんなにも楽しく、充実しているとは思いませんでした。

校内研究は、まず教員の意識付けをすることが大事だと感じました。教員一人ひとりが校内研究を「自分事」として捉えることで、取り組む姿勢や意識が変わり、それが、「新たな教師の学びの姿」につながると思います。そのためのコーディネートをすることが校内研究主任の役割であると実感しました。



本研究の様子や先生方の声をまとめた

プロ研通信

校内研究主任の学びや
実践校の校内研究会の取組を
具体的に知りたい方におすすめ！

研究内容の詳細・各種シートのダウンロードはこちら

滋賀県総合教育センター 令和5年度研究成果情報

検索

<https://www.shiga-ec.ed.jp/www/contents/1701052723998/index.html>

